



政務活動報告書

令和5年1月30日

〔会派名： 無会派 〕

代表者氏名	幸松 孝太郎 	記録者氏名	幸松 孝太郎 
視察者氏名	幸松 孝太郎		
視 察 日	令和5年1月26日（木）10時から11時30分まで		
視 察 先	長野県駒ヶ根市（名張市議会第1委員会室よりオンライン視察）		
目 的	駒ヶ根市「令和4年度の予算のあらましと駒ヶ根市実施計画」の取組みについて調査すること		

視察概要

(1) 駒ヶ根市 令和4年度予算のあらまし（HP資料から説明）

市の概要

所在地／長野県駒ヶ根市赤浜町20番1号

北 緯／35度43分30秒

東 経／137度56分13秒

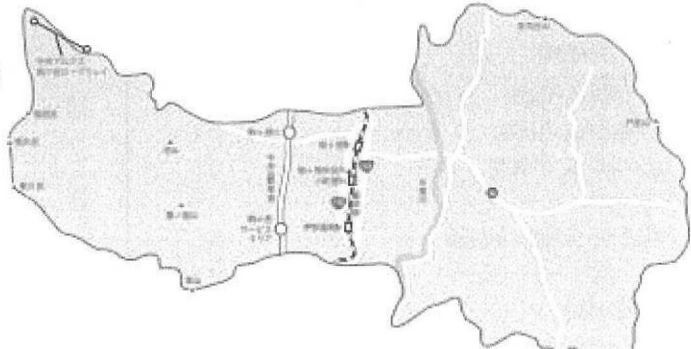
標 高／海拔676m

市の面積／165.92平方km





東 西／25km

南北の距離／8.1km

周囲の距離／75.8km



駒ヶ根市は、東に南アルプス、西に中央アルプスの山々をまちから望むことができる。町を南北に縦断して流れる天竜川とそこに流れ込むアルプスからの清らかな水の恵み、澄んだ空気、肥沃な大地、この豊かな自然の中に息づくまちが駒ヶ根である。駒ヶ根という名前は、駒ヶ岳の麓のまちという意味で、昭和29年の市制施行時に命名された。

<p>市 章 <small>昭和29年7月1日制定</small></p> <p>「コマ」を立体的に図案化してアルプス連峰を表し、○は市の平和を表しています。</p> 	<p>市の木「赤松」 <small>昭和29年7月1日制定</small></p> <p>赤松は、常緑を保ちながら、耐寒力や生命力を合わせ持っています。姿かたちは陽性で、樹齢が長い樹木です。老木は泰然自若、葉は双葉で和を表しています。確進、悠久、平和都市駒ヶ根を表徴する樹木です。</p> 
<p>市の花「すずらん」 <small>昭和29年7月1日制定</small></p> <p>すずらんは、雪解けと共に鋭く芽生え、たちまちのうちに緑の葉を広げ、やがて気品の高い花を咲かせます。自然が豊かで美しい駒ヶ根を象徴する花です。</p> 	<p>市の昆虫「ハッチョウトンボ」 <small>平成16年7月1日制定</small></p> <p>ハッチョウトンボは、良好な自然環境を保つ里山の湿原に生息する世界最小種のトンボであり、環境指標に用いられています。国内ではその数が減少しているといわれますが、市民の保護活動によって数は増えています。小さな命を守り育む駒ヶ根市民の願いや豊かな自然との共生を象徴する昆虫です。</p> 

(2) 駒ヶ根市 第5次総合計画について (HP資料から説明)

①. 令和4年度予算のあらましの説明

目次	
一般会計・特別会計予算	1
当初予算の概要	2
第1 一般会計当初予算の概要	6
1 予算規模及び全体概要	6
2 歳入予算の要点	7
3 歳出予算の要点	9
第2 特別会計・企業会計予算の概要	11
第3 財政見通し	14
第4 予算編成の背景	15
第5 一般会計当初予算主要事業	20
1 第5次総合計画基本構想体系分類	20
2 主要事業等一覧表	22
(資料)	
主要一般財源集計	35
歳入増減内訳(款別)	36
歳出増減内訳(目的別)	37
歳出増減内訳(性質別)	38
市債一覧表	39
市債残高・元利償還金の推移	40
基金の状況	41
目的税の使途	42
引き上げ分に係る地方消費税の使途	43
森林環境譲与税の使途	44
事業見直し一覧	45

<予算規模と全体概要>

令和4年度一般会計当初予算は148億5,500万円で、前年度当初予算と比較して1億2,500万円、0.8パーセント増加した。開始年度を2年前倒しした第5次総合計画のスタートにあたり、少子化対策・子育て支援などの重点プロジェクトや主要施策に重点的に予算配分した。また、コロナ感染症の収束が見通せない中、市民生活に影響を及ぼすことがないよう国の経済対策に合わせて、令和3年度補正予算(第12号)と本予算を一体として編成(合計153億4,290万円)し、切れ目なく施策を推進した。

コロナ禍により顕在化した社会課題や環境変化、多様化する価値観などに一早く対応した第5次総合計画では、行政DXの推進や新市民創造など新たな時代へ対応した施策を積極的に展開した。引き続き、追加のワクチン接種や感染予防に取り組むとともに、具体的な緊急経済対策については、状況を見極めながら今後の補正予算等で対応した。財政健全化に向けては、新たにスタートする行財政改革プラン2022に基づき進める。目標の一つに掲げた「将来負担比率の減少」へは、市債残高の年4億円の減少や財政調整用3基金合計で年2億円の増加を目指し取り組む。また、公共施設個別施設計画の推進については、今後の施設のあり方や長寿命化に向けた調査費用等を計上し具体的な検討に着手する。

<感想>

名張市では、あらましという形式でなく、予算編成方針と当初予算説明会資料という形式で策定されているもので、今回、駒ヶ根市の予算のあらましの考え方をお聞きした。当市に比べて非常にわかりやすい資料であった。

因みに、予算編成方針では、目的と当年度の財政見通し、予算編成の基本方針、当年度重点取組(3つの重点戦略)の推進について、部局別枠配分方式による予算編成、その他留意事項である。当初予算説明会資料は、一般会計予算案の姿、重点取組、各部の主要事業・懸案事項一覧である。駒ヶ根市の予算あらましの目次を見るとどちらがわかりやすいかは一目瞭然である。当然なことであるが永年同じパターンで作成しているもので、わからないかもしれないが、予算は、一般会計と特別会計について予算を明らかにすることが必要と考えるため、今後の委員会等で反映していきたい。

② 駒ヶ根市 第5次総合計画の基本構想と基本計画

① 第5次総合計画の基本構想と基本計画の説明

将来像	基本目標	基本構想	政策
誰もが自由闊達にいいきと活躍する広場のようなまち	1 ひとづくり		1-1 未来を担うひとづくりを進めよう 1-2 ともに学び、文化やスポーツに親しめるまちづくりを進めよう 1-3 協働のまちづくりを進めよう 1-4 人権を尊重し、互いに理解し合える地域づくりを進めよう
	2 健康づくり・支え合いの地域づくり		2-1 健康長寿を推進しよう 2-2 安心の地域医療を確保しよう 2-3 支えあふ福祉のまちづくりを進めよう
	3 ひとの流れづくり		3-1 訪れたい魅力ある観光地域づくりを進めよう 3-2 移住・定住したい魅力あるまちづくりを進めよう
	4 しごと・ものづくり		4-1 地域資源と新技術を活かした農林業を振興しよう 4-2 にぎわいと活力ある商工業を振興しよう
	5 安心・快適なまちづくり		5-1 カーボンニュートラルに向けた取組を進めよう 5-2 ひとにやさしい安全・安心・快適な都市基盤整備を進めよう 5-3 災害に強く、安全に暮らせるまちづくりを進めよう

共通基盤 「共通基盤」とは、それぞれの施策を推進していくうえで、共通に取り組むべき項目です。

感染症を越えて新たな時代への対応

基本計画	重点プロジェクト																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1-1-1 好気期から子育て期の切れ目ない支援</td></tr> <tr><td>1-1-2 家庭・地域の子育て力の向上</td></tr> <tr><td>1-1-3 幼児期の健全育成の推進</td></tr> <tr><td>1-1-4 子どもの食育の推進</td></tr> <tr><td>1-1-5 学校教員の充実</td></tr> <tr><td>1-1-6 学校・家庭・地域社会との連携強化による教育力向上</td></tr> <tr><td>1-2-1 生涯学習の推進</td></tr> <tr><td>1-2-2 文化財の保存と活用</td></tr> <tr><td>1-2-3 文化芸術活動の推進</td></tr> <tr><td>1-2-4 市民スポーツの推進</td></tr> <tr><td>1-3-1 市民参道の促進と市民活動の推進</td></tr> <tr><td>1-3-2 地域コミュニティの活性化</td></tr> <tr><td>1-4-1 人権が尊重される社会の実現</td></tr> <tr><td>1-4-2 男女共同参画社会づくりの推進</td></tr> <tr><td>1-4-3 国際交流と多文化共生の推進</td></tr> <tr><td>2-1-1 健康づくり習慣の普及</td></tr> <tr><td>2-1-2 高齢者の保健・福祉・介護の体制整備</td></tr> <tr><td>2-2-1 健康保険、福祉医療制度の運営</td></tr> <tr><td>2-2-2 地域医療体制の充実</td></tr> <tr><td>2-3-1 包括的支援体制の構築</td></tr> <tr><td>2-3-2 障がい者の生活支援と社会参加の推進</td></tr> <tr><td>2-3-3 生活困窮者への支援</td></tr> <tr><td>3-1-1 地域資源を活かした魅力ある観光地域づくり</td></tr> <tr><td>3-1-2 高速交通網を活かした広域観光連携</td></tr> <tr><td>3-2-1 移住・定住の推進</td></tr> <tr><td>3-2-2 関係人口の創出・拡大</td></tr> <tr><td>4-1-1 優良農地の確保と有効活用・農村景観の保全</td></tr> <tr><td>4-1-2 暮らしを豊かにする魅力ある地域農産物の創出</td></tr> <tr><td>4-1-3 新しい技術を活かしたスマート農産物の推進</td></tr> <tr><td>4-1-4 多面的機能を発揮して暮らしを守る森林づくり</td></tr> <tr><td>4-2-1 活力ある商業・サービス業の振興</td></tr> <tr><td>4-2-2 人が集まる「まちなか」の魅力づくり</td></tr> <tr><td>4-2-3 新たな高付加価値産業の振興と企業誘致の推進</td></tr> <tr><td>4-2-4 地域を支える中小企業の経営基盤強化と人材の創出</td></tr> <tr><td>5-1-1 再生可能エネルギー等の推進</td></tr> <tr><td>5-1-2 資源循環型社会の形成</td></tr> <tr><td>5-1-3 環境保全の推進</td></tr> <tr><td>5-2-1 安心して暮らせる住環境の整備</td></tr> <tr><td>5-2-2 生活に密着した道路整備の推進</td></tr> <tr><td>5-2-3 幹線道路網の整備</td></tr> <tr><td>5-2-4 地域公共交通の確保</td></tr> <tr><td>5-2-5 上下水道事業の持続と安全・安心</td></tr> <tr><td>5-2-6 農林に配慮したまちなかの創出</td></tr> <tr><td>5-3-1 激甚化する災害への対策強化</td></tr> <tr><td>5-3-2 地域防災力の強化</td></tr> <tr><td>5-3-3 防災・交通安全・消費生活対策の推進</td></tr> </tbody> </table>	施策	1-1-1 好気期から子育て期の切れ目ない支援	1-1-2 家庭・地域の子育て力の向上	1-1-3 幼児期の健全育成の推進	1-1-4 子どもの食育の推進	1-1-5 学校教員の充実	1-1-6 学校・家庭・地域社会との連携強化による教育力向上	1-2-1 生涯学習の推進	1-2-2 文化財の保存と活用	1-2-3 文化芸術活動の推進	1-2-4 市民スポーツの推進	1-3-1 市民参道の促進と市民活動の推進	1-3-2 地域コミュニティの活性化	1-4-1 人権が尊重される社会の実現	1-4-2 男女共同参画社会づくりの推進	1-4-3 国際交流と多文化共生の推進	2-1-1 健康づくり習慣の普及	2-1-2 高齢者の保健・福祉・介護の体制整備	2-2-1 健康保険、福祉医療制度の運営	2-2-2 地域医療体制の充実	2-3-1 包括的支援体制の構築	2-3-2 障がい者の生活支援と社会参加の推進	2-3-3 生活困窮者への支援	3-1-1 地域資源を活かした魅力ある観光地域づくり	3-1-2 高速交通網を活かした広域観光連携	3-2-1 移住・定住の推進	3-2-2 関係人口の創出・拡大	4-1-1 優良農地の確保と有効活用・農村景観の保全	4-1-2 暮らしを豊かにする魅力ある地域農産物の創出	4-1-3 新しい技術を活かしたスマート農産物の推進	4-1-4 多面的機能を発揮して暮らしを守る森林づくり	4-2-1 活力ある商業・サービス業の振興	4-2-2 人が集まる「まちなか」の魅力づくり	4-2-3 新たな高付加価値産業の振興と企業誘致の推進	4-2-4 地域を支える中小企業の経営基盤強化と人材の創出	5-1-1 再生可能エネルギー等の推進	5-1-2 資源循環型社会の形成	5-1-3 環境保全の推進	5-2-1 安心して暮らせる住環境の整備	5-2-2 生活に密着した道路整備の推進	5-2-3 幹線道路網の整備	5-2-4 地域公共交通の確保	5-2-5 上下水道事業の持続と安全・安心	5-2-6 農林に配慮したまちなかの創出	5-3-1 激甚化する災害への対策強化	5-3-2 地域防災力の強化	5-3-3 防災・交通安全・消費生活対策の推進	<p>「重点プロジェクト」は、計画期間内（5年間）に推進する事業のうち、特に優先的、重点的、政策横断的に取り組むものです。</p> <p>① 少子化対策・子育て支援プロジェクト 令和3年度にスタートした少子化対策プロジェクトをさらに推進します。</p> <p>② 共生社会づくりプロジェクト 地域住民や多様な主体が支え合い、生きがいを持って暮らせる社会の仕組みづくりを進めます。</p> <p>③ 生涯活躍のまちづくりを軸とした中心市街地（まちなか）再構築プロジェクト 生涯活躍のまちづくりなどにより、まちなかの魅力を高め、人が集う中心市街地をつくります。</p> <p>④ 竜東振興プロジェクト 竜東地域（新宮川岸地区）に新たな交流拠点を整備し、駒ヶ根市全体の発展につなげます。</p> <p>⑤ 地域資源を活かした観光地域づくりプロジェクト 観光資源のブラッシュアップや高観光施設を結び新たな交通システムの整備などにより、時代の流れに沿った観光地域づくりに取り組み、駒ヶ根ファンづくりを進めます。</p> <p>⑥ カーボンニュートラル推進プロジェクト 地球温暖化、気候変動など深刻化する環境問題に対し、さらなる省エネ化、再エネ拡大を推進します。</p>
施策																																																
1-1-1 好気期から子育て期の切れ目ない支援																																																
1-1-2 家庭・地域の子育て力の向上																																																
1-1-3 幼児期の健全育成の推進																																																
1-1-4 子どもの食育の推進																																																
1-1-5 学校教員の充実																																																
1-1-6 学校・家庭・地域社会との連携強化による教育力向上																																																
1-2-1 生涯学習の推進																																																
1-2-2 文化財の保存と活用																																																
1-2-3 文化芸術活動の推進																																																
1-2-4 市民スポーツの推進																																																
1-3-1 市民参道の促進と市民活動の推進																																																
1-3-2 地域コミュニティの活性化																																																
1-4-1 人権が尊重される社会の実現																																																
1-4-2 男女共同参画社会づくりの推進																																																
1-4-3 国際交流と多文化共生の推進																																																
2-1-1 健康づくり習慣の普及																																																
2-1-2 高齢者の保健・福祉・介護の体制整備																																																
2-2-1 健康保険、福祉医療制度の運営																																																
2-2-2 地域医療体制の充実																																																
2-3-1 包括的支援体制の構築																																																
2-3-2 障がい者の生活支援と社会参加の推進																																																
2-3-3 生活困窮者への支援																																																
3-1-1 地域資源を活かした魅力ある観光地域づくり																																																
3-1-2 高速交通網を活かした広域観光連携																																																
3-2-1 移住・定住の推進																																																
3-2-2 関係人口の創出・拡大																																																
4-1-1 優良農地の確保と有効活用・農村景観の保全																																																
4-1-2 暮らしを豊かにする魅力ある地域農産物の創出																																																
4-1-3 新しい技術を活かしたスマート農産物の推進																																																
4-1-4 多面的機能を発揮して暮らしを守る森林づくり																																																
4-2-1 活力ある商業・サービス業の振興																																																
4-2-2 人が集まる「まちなか」の魅力づくり																																																
4-2-3 新たな高付加価値産業の振興と企業誘致の推進																																																
4-2-4 地域を支える中小企業の経営基盤強化と人材の創出																																																
5-1-1 再生可能エネルギー等の推進																																																
5-1-2 資源循環型社会の形成																																																
5-1-3 環境保全の推進																																																
5-2-1 安心して暮らせる住環境の整備																																																
5-2-2 生活に密着した道路整備の推進																																																
5-2-3 幹線道路網の整備																																																
5-2-4 地域公共交通の確保																																																
5-2-5 上下水道事業の持続と安全・安心																																																
5-2-6 農林に配慮したまちなかの創出																																																
5-3-1 激甚化する災害への対策強化																																																
5-3-2 地域防災力の強化																																																
5-3-3 防災・交通安全・消費生活対策の推進																																																
<p>② 自治体DXの推進</p> <p>③ 健全な行財政運営</p> <p>④ 広域連携</p> <p>⑤ SDGsの推進</p>																																																

<感想>

名張市では、この4月から名張市総合計画「なばり新時代戦略」がスタートする。総合計画は、名張の新時代を切り拓く道しるべ。計画に「目指す10年後の姿」が書かれている。なばり新時代戦略(素案)では、これが「目指す10年後の姿」だ!とイメージを明確にしている。“変

化をおこし活力あふれ みんなでつくる 大好きなまちなばり” がキャッチフレーズだ！

素案では、時代の変化に対応しながら、これからは、市民自らが変化をおこすこと、挑戦することを目指す。そうすることで、活力あふれるまちをつくり、みんなでつくるまちは、大好きなまちになっている。名張が大好きなひとたちであふれる。

そして、名張に愛着を持ち、まちの将来に主体的に関わる協力者でさらにまちに活力があふれる。10年後、そのような名張市を目指す。

駒ヶ根市の総合計画の考え方は、すべての市民が希望を持ち、豊かさが実感できる魅力あるまちづくりを目指し、将来の駒ヶ根市が進むべき方向性を（基本理念・将来都市像）を明らかにし、まちづくりの基本目標及び政策、土地利用構想を定めたもの。また、それらのまちづくりを実現するための政策を定めたものが基本計画となる。策定にあたっては、人口減少時代を迎え、最重要課題である少子高齢化社会への対応と、世界規模の新型コロナウイルス感染症対策が求められる自治体の構築に向け、その策定プロセスはもとより、策定後の具体的なまちづくりの推進にあっても市民と行政が情報を共有し、ともに力を合わせて、今の時代にふさわしいまちづくりを進めていけるよう配慮していくと説明された。

当市が10年後にターゲットをしているに対し、駒ヶ根市は5年とし、特にコロナ対策を重視しながら少子化対策に重点を置く総合計画であった。

③実施計画

駒ヶ根市実施計画は、総合計画で定められた施策を実現するため具体的な事業や財源を明らかにしたもの。市民生活や行政を取り巻く環境は日々変化している。そうした社会経済情勢を的確に市政運営に反映させるよう、毎年、先3年間の事業計画を見直し、施策の実効性を確保するとともに各年度の予算編成の指針としている。

実施計画＜令和5年度～令和7年度＞における財政投資計画

1. 策定方針

- ① 本実施計画は、第5次総合計画に掲げる基本理念や将来像、基本目標の実現に向け、市政を進展させるために取り組むべき事業や財政の見通しを明らかにするもので、日々変化する社会経済情勢を的確に市政運営に反映させるため、毎年、先3年間の事業計画を見直し、施策の実効性を確保するとともに各年度の予算編成の指針とするものです。
- ② 財政投資計画は実施計画に財政的裏付けを与えるもので、その策定にあたっては、令和3年度決算確定値をベースに令和4年度の決算見込みを踏まえ、歳入歳出各項目のトレンドを分析するとともに、総務省公表の「令和5年度の地方財政の課題」による地方財政の収支見通しを反映し、客観的根拠に基づく推計を行っています。
- ③ ふるさと寄附の取扱については、当年度歳入分は一旦基金に積み立てるものの、前年までに積み立てた寄附金は政策実現のための投資財源として積極的に事業に繰り入れていくこととしたりうえで、行財政改革プラン2022に基づき収支バランスをとっています。

2. 財源投資計画

(単位：百万円)

項目	内容	R5	R6	R7	備 考
歳入	市税	4,701	4,685	4,737	R6年度計値時点 R4年度決算見込：4,719 【前年度対比】R5:134決算見込と対比し、 R6、R7は前年度計画額と対比している。
	(前年度対比)	99.8%	99.7%	101.1%	
	地方交付税(臨時財政対策債含む)	4,084	4,095	4,055	臨時財政対策債 R5:133 R6:133 R7:133 特別交付税 R5:400 R6:400 R7:400 R4年度決算見込：4,179
	(前年度対比)	97.8%	100.3%	99.0%	【前年度対比】R5:134決算見込と対比し、 R6、R7は前年度計画額と対比している。
	その他	3,459	3,537	3,612	地方譲与税、税交付金、通常の特定財源
合計	(A)	12,244	12,317	12,404	
歳出	人件費	2,528	2,523	2,531	
	退職手当	22	152	0	定年給費を見込
	物産費(経常分)	1,417	1,465	1,474	
	扶助費(経常分)	1,418	1,429	1,440	
	公債費	1,706	1,625	1,642	
その他	1,500	1,507	1,519		
合計	(B)	8,591	8,700	8,607	
投資可能な財源(基金繰入前)(C)	(A)-(B)	3,652	3,617	3,797	
ふるさとづくり基金繰入金(投資的経費充当分)(D)		507	494	302	財政調整用基金残高見込 R5:3,526 R6:3,532 R7:3,730
投資可能な財源合計(E)	(C)+(D)	4,159	4,111	4,099	
3ヵ年実施計画に基づく投資額(F)		4,159	4,111	4,099	
収支差引(G)	(E)-(F)	0	0	0	
(参考) 実施計画上の普通債発行額		635	909	1,170	3ヵ年平均 905

※小数点以下の端数処理により内訳、合計、差引等が一致しない場合がある。

<感想>

駒ヶ根市の実施計画は、毎年3年間の財政投資計画を策定することをお聞きした。当市も含め一般的には中期財政見通し及び中期財政計画を策定した後、当初予算を策定するが、このような考え方は、駒ヶ根市も含め近隣市でも採用しているとのことであった。

令和4年から6年までと令和5年から7年までと比較してみたが、予算額が違っており、毎年各部からの申請で予算額が違うことが理解できた。この方式の利点は、総合計画の基本目標、政策、施策、重点プロジェクトについて、年内に議会の全協で報告することで、どの事業にどれだけの予算を配分するかがわかるため、3月の当初予算前に理解することができることである。

スケジュールをお聞きすると、7月に各部に予算を依頼し、8月10日には提出、その後各部とヒアリングし、最終的に市長とヒアリングし9月末に決定し査定となる。12月には議会に報告し、3月に当初予算となる。この財政投資計画により総合計画の施策の実効性を確保するとともに、各年度の予算編成の指針となっている。

当市では、このような先3年間の事業計画の策定と見直しには、それなりの時間を要するため、職員の業務量も増加することになる。その点を質問すると今はこのようなことを毎年実施しているので、各部からの苦情はないといていた。

当市もこの3年間の財政投資計画は、総合計画を実現するために一度検討してみる必要があるため、委員会等で要望していきたい。

④ 市民満足度調査について

資料1-1

第2回 駒ヶ根市基本構想懇話会 資料

令和3年度 市民満足度調査結果 概要

【 P1-3 】調査概要・調査実施済・調査状況

- 調査対象：R3.5.1現在の市内在住「満年齢18歳以上の男女3,000人」
- 回答数：1,206人（調査表回答：1345人、11回答数：121人）
- 回答率：42.2% ⇒ 年齢が高いほど回答率が低い傾向にある。
- 新規項目として、「市からの情報発信に関する状況」と「価値観の変化や社会構造の変革に対応するための取組み」の項目を追加。

【 P4-5 】今後の居住意向

- 「なんでいる場所に住み続けたい」「市内の別の場所に移り住みたい」：86.7%（前回86.1%）
- ⇒ 年齢が高いほど、居住年数が長ければ、市内に住み続けたい意向が高い。

【 P6-7 】暮らしの満足度・重要度

- 黄色のセル：「満足度が平均値（3.27）以下」かつ「重要度が平均値（4.22）以上」の項目
- 満足度・重要度：全体として満足度は前回調査から増加傾向、重要度には大きな変化なし。
（満足度平均値3.18 ⇒ 3.27、重要度平均値4.23 ⇒ 4.22）
- 大項目別では、「(2) 安全性・安心度」、「(3) 便利さ」、「(5) 都市基盤整備」、「(7) 福祉・子育て・健康・消費生活」において、重要度と満足度の差が大きい（前回調査と同じ傾向）。

【 P8-9 】暮らしの満足度・重要度【満足度ポイントの高い順】

- (10) 2市職員の窓口対応に好感を持つことができる：前回29位 ⇒ 今回16位（13位↑）
- (2) 1夜間でも安心して出歩くことができる：前回44位 ⇒ 今回20位（24位↑）
- (4) 3男女が等しく地域活動に参加することができる：前回18位 ⇒ 今回39位（12位↓）
- (4) 3ボランティアやNPOが活動しやすい：前回32位 ⇒ 42位（10位↓）
- 上記以外は、総体的に大きな順位変化は少なく、上位4項目は順位変化なし。

【 P10-11 】暮らしの満足度・重要度【重要度ポイントの高い順】

- (10) 2市職員の窓口対応に好感を持つことができる：前回29位 ⇒ 今回21位（18位↑）
- (9) 2子どもたちが遊び場や公園などで遊んでいる：前回32位 ⇒ 今回23位（19位↑）
- (1) 3駒ヶ根市に愛着を感じる：前回28位 ⇒ 今回39位（11位↓）
- 上記以外は、総体的に大きな順位変化は少なく、暮らしに直結している項目の順位が高い傾向にある。

【 P12-25 】分類別ポートフォリオ分析

- 縦軸：満足度、「横軸：重要度」に設定し、当該項目がどこに位置しているかを分かりやすく表示
- 満足度・重要度の平均値を「青・赤ライン」で表示し、取組みの方向性を判断する目安とする。
- (例) P13「(2) 安全性・安心度」(高齢者や障がい者が安心して暮らせる)
⇒「重要度：4.6、は平均値以上であるが、「満足度：3.1、は平均値以下となっているため、今後満足度をどのように高めていくかが課題となる。

<感想>

総合計画の基本構想を策定する際に、左記のような市民調査を2年おきに実施している。

この調査で、今後の居住意向について、今住んでいる場所に住み続けたいかとの問いに86.7%と高い居住傾向の満足度があったことに比較して、暮らしの満足度・重要度を聞く地域活動に参加するかやボランティア活動への参加、さらに駒ヶ根市に愛着を感じるか、について前回より10位程度下がっていることについて何か対応しているのかと質問をしたところ、現状としては参考とするのみの回答であった。

当市においても毎年市民意識調査を実施しているが、この調査を活用して次年度への事業展開に繋げることが必要である。

総合計画の実現に向けて、市民の生活状況や価値観の変化、そして社会構造などの変革などに対応する取組を積極的に図っていかねばならない。

⑤ 駒ヶ根市の実施計画統括表

駒ヶ根市実施計画（令和5年度～令和7年度）総括表

第5次総合計画

I 基本目標・政策別

(単位：千円)

項目	令和5年度						令和6年度						令和7年度					
	事業費	市の財源内訳					事業費	市の財源内訳					事業費	市の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1 ひとづくり	1,215,875	348,985	90,540	29,900	47,247	699,185	1,435,314	342,495	94,167	245,400	67,247	688,004	1,797,622	354,784	389,415	236,900	90,478	716,065
(1) 本来を担うひとづくりを進めます	935,254	343,585	85,648	7,400	29,407	457,314	913,695	339,649	84,167	6,900	29,407	444,177	903,442	341,314	82,815	29,199	29,628	461,771
(2) とともに学び、文化やスポーツに親しめるまちづくりを進めます	264,808	3,000	5,000	22,500	6,529	237,788	905,788	3,000	19,000	278,500	26,529	227,688	829,065	13,000	316,688	299,800	49,525	299,117
(3) 福寿のまちづくりを進めます	13,000	0	0	0	1,320	12,180	13,000	0	0	0	1,320	12,180	13,000	0	0	0	1,320	12,180
(4) 人権を尊重し、互いに理解し合える地域づくりを進めます	2,313	499	0	0	0	1,913	2,413	499	0	0	1,903	2,413	499	0	0	0	1,903	2,413
2 健康づくり・支え合いの地域づくり	2,037,818	54,999	221,977	0	0	1,760,843	2,038,830	54,999	222,916	0	0	1,760,915	2,016,907	54,999	223,874	0	0	1,738,035
(1) 健康長寿を推進します	350,767	12,760	6,388	0	0	331,627	360,494	12,760	6,388	0	0	341,354	372,388	12,760	6,388	0	0	353,249
(2) 安心の地域医療を確保します	1,458,531	26,229	213,595	0	0	1,217,696	1,448,319	26,229	216,538	0	0	1,205,542	1,438,060	26,229	217,494	0	0	1,172,769
(3) 支え合う福祉のまちづくりを進めます	27,520	16,000	0	0	0	11,520	28,020	16,000	0	0	0	12,020	28,020	16,000	0	0	0	12,020
3 ひとの流れづくり	213,813	40,000	5,033	61,200	2,145	105,435	121,741	0	1,800	19,800	2,145	97,994	104,741	0	1,800	0	2,145	100,796
(1) 訪れたい魅力ある観光地づくりを進めます	155,972	40,000	5,033	61,200	0	49,729	63,900	0	1,800	19,800	0	42,300	46,900	0	1,800	0	0	44,100
(2) 移り住みやすい魅力ある暮らしづくりを進めます	57,841	0	0	0	2,145	55,696	57,841	0	0	0	2,145	55,696	57,841	0	0	0	2,145	55,696
4 しごと・ものづくり	871,614	54,357	136,324	22,800	381,789	276,344	1,034,000	65,907	139,667	61,800	503,589	263,117	1,340,788	279,157	131,717	274,700	376,489	278,737
(1) 地域資源と新技術を活かした農林業を振興します	495,105	47,467	136,324	11,600	71,866	132,768	569,489	58,333	138,834	42,300	500,899	128,172	938,469	272,667	130,884	274,700	88,899	167,472
(2) にぎわいと活力ある商工業を振興します	471,909	6,790	0	11,200	309,923	143,576	464,511	6,790	833	19,500	302,700	134,945	411,319	6,790	833	0	296,665	111,265
5 安心・快適なまちづくり	4,413,603	344,188	10,026	1,291,300	1,655,215	1,112,874	4,148,685	421,387	2,788	1,061,500	1,563,398	1,100,678	4,194,353	428,600	2,788	1,094,700	1,558,688	1,108,658
(1) カーシェアリングに向けた取組を進めます	307,830	7,569	0	12,400	27,443	299,487	363,738	6,250	0	10,700	27,443	319,337	352,148	6,000	0	10,700	27,443	309,600
(2) ひとにやさしい「安全・安心・快適な都市基盤整備を進めます	4,051,664	328,451	6,254	1,250,600	1,628,209	849,263	3,639,137	386,428	0	936,200	1,534,298	772,032	3,638,994	405,113	0	907,000	1,530,512	776,365
(3) 災害に強く、安全に暮らせるまちづくりを進めます	54,109	8,237	3,774	28,300	1,572	32,222	148,798	18,471	2,788	114,600	1,633	8,309	183,213	18,471	2,788	137,000	1,634	23,281
6 基本構想の推進に向けて	406,474	19,100	5,100	66,100	70,300	245,474	293,382	33,840	5,100	10,300	0	244,122	281,083	38,620	5,100	41,900	0	197,583
総合計	9,159,197	861,628	469,008	1,471,300	2,156,696	4,200,565	9,070,932	918,664	466,430	1,388,600	2,138,257	4,150,833	9,737,466	1,156,139	764,694	1,648,100	2,028,701	4,139,852
うち歳入の減（副食費・未読戻保育料軽減額）	(42,184)	0	(1,151)	0	0	(41,033)	(42,184)	0	(1,151)	0	0	(41,033)	(42,184)	0	(1,151)	0	0	(41,033)

II 重点プロジェクト（上記1のうち）

7 重点プロジェクトの推進	478,691	90,482	25,535	87,100	84,980	190,606	428,510	45,812	22,235	41,000	212,980	152,115	776,960	260,712	14,285	282,700	92,988	191,420
(1) 多子化対策・子育て支援プロジェクト	131,464	28,798	199	13,500	1,090	90,059	68,564	11,708	199	0	56,679	71,314	11,608	199	0	0	0	58,059
(2) 共生社会づくりプロジェクト	10,000	7,500	0	0	0	2,500	10,000	7,500	0	0	2,500	10,000	7,500	0	0	0	0	2,500
(3) 生涯活躍のまちづくりを軸とした中心市街地（まちなか）再構築プロジェクト	28,211	8,746	803	0	1,538	14,117	30,813	8,600	1,600	0	4,538	16,011	30,813	8,600	1,600	0	1,538	16,011
(4) 産業振興プロジェクト	139,967	0	18,500	0	68,700	51,767	284,831	11,750	18,600	10,900	195,781	46,217	647,531	225,000	10,600	252,000	71,799	82,171
(5) 地域資源を活かした観光地づくりプロジェクト	122,309	40,000	5,033	61,200	0	16,067	32,309	0	1,800	19,800	0	10,700	31,309	0	1,800	0	0	13,500
(6) カーシェアリング推進プロジェクト	46,144	7,569	0	12,400	10,743	36,102	47,648	6,250	0	10,700	26,743	19,847	47,141	6,000	0	10,700	10,743	18,702

III DX・公共施設マネジメント（上記1のうち）

8 自治体DXの推進	206,609	9,433	1,333	0	1,945	193,898	217,194	21,293	0	88,000	1,945	105,966	285,259	29,883	0	127,000	1,945	126,431
9 公共施設等適正管理の推進	324,961	54,382	0	191,100	2,074	76,405	408,698	8,764	0	318,700	28,974	52,452	428,900	31,783	0	303,700	14,237	79,280

<感想>

本計画は、中期的な財政状況を推計したもので、計画的かつ効率的な財政運営の一助とするものである。新型コロナウイルス感染症については、感染状況の推移など、不確定要素が多く、与える影響も大きいことから、現時点で十分に予見することは困難であると考えられる。社会情勢の変化

や国県の制度改正等の変化を迅速に反映させ、新たな財政需要等に適切に対応できるよう、毎年度、先3年間のローリング方式による見直しを行っているが、今後は例年以上にローリングによる効果が大きくなるものと考えている。

(3) 所感

今回研修した駒ヶ根市の人口は、平成20年(2008年)の34,662人をピークに減少に転じており、令和3年(2021年)4月には31,701人となっている。「駒ヶ根市人口ビジョン」では、令和42年(2060年)の人口は27,059人になると推計している。自然動態については、令和2年(2020年)に▲約200人(出生200人・死亡400人)となっており、少子高齢化の影響によりマイナス幅が広がる傾向にある。社会動態については、同2年(2020年)に▲114人(転入1,008人・転出1,122人)で転入超過となっている。合計特殊出生率は、同2年(2020年)に1.51で、前年より0.14ポイント低下している。また、年齢3区分別の人口推移を見ると、年少人口(15歳未満)は昭和50年の7,034人をピークとして減少傾向にあり、同2年では3,946人となっている。

生産年齢人口(15歳から64歳)は、男性は平成7年の10,970人をピークに、女性は平成12年の10,895人をピークにそれぞれ減少傾向にあり、令和2年では17,795人となっている。老年人口(65歳以上)は一貫して増加傾向にあり、近年は増加幅が少なくなっているものの令和2年で9,988人となっている。なお、高齢化の進展が顕著であり、平成29年(2017年)には高齢化率が30%を超えている。

これらの原因としては、団塊の世代の高齢化、未婚率の上昇、晩婚化等が考えられる。人口減少や高齢化の進展は、消費や労働力の減少をもたらすだけでなく、地域活力の低下を招きかねず、地域経済を停滞させる一因となることが懸念されている。また、地域の担い手が減少することによりコミュニティ機能が低下するほか、社会資本の維持に必要な市民一人当たりの費用が増加することが見込まれ、その維持・更新が困難になっていくことが予想されている。特に、一部地域においては、急激な高齢化が進展している影響から、地域で支え合う力が低下してきており、将来、集落の維持が困難になることも懸念されている。また、高齢化の進展に伴って、高齢単身世帯等が増加することにより、今まで以上に社会全体で高齢者を支えていくことが必要となっていく。そこで、人口増加策を進めるとともに、経済的な基盤を確立し、活力ある地域づくりを進める必要がある。これらの課題に対応するため、総合計画5つの基本方針を定め、「地方創生」の施策を展開していくこととする。

研修では、まず上述の資料を事前調査して臨んだが、この人口ビジョンの内容を駒ヶ根市から名張市に置き換えて数字を変えれば十分通用する内容になる。

駒ヶ根市の説明資料は、HPに全て掲載している内容のため、予算のあらましから財政計画、総合計画についての資料がわかりやすく、また読みやすくHPに掲載している。

特に、財務報告書の一般に難しいというイメージを払拭し、財政投資計画は先3年間のローリング版が各事業別に予算が掲載されているので、これだけの作業を年1回とは言え、1か月半程度の期間で行うのは、かなりの人手とコストをかけていると思われたが、すべて職員で行っていることは驚嘆に値する。これは当然、毎年実施するという経験の積み重ねもあるだろうが、日頃から事業説明の仕方を常に意識して日々の業務に当たっている職員の行政の見える化に対する姿勢があつてこそ実現できていることだと考える。この行政の見える化、財政改革への熱意は、財政投資計画の積極的な導入と活用にも見て取れる。駒ヶ根市は、財政的にも当市と同様、多額の債務を抱えたこと、また、将

来、これらの施設の更新時期も重なると言う大きな問題から、財政改革を進め、中長期的な公共資産の運用・管理をしなければならないことから、より緻密で正確な財政投資計画を行うために、毎年見直している。また、これらのデータをHPへの掲載など外部（市民）向けに活用するとともに、行政内部評価や議会での行政報告など、内部向けにも活用している。これもまた、行政の見える化に対する意識の醸成につながっていると感じた。

名張市においても、この当局の意識は、既に発行している決算附属資料の中で多くのページを割いて掲載している施策評価シート、その後策定する予算編成方針、当初予算説明資料などによく見て取れるが、さらに工夫を重ねて仮に、3カ年ローリング版の財政投資計画を策定すれば、令和5年度からスタートする新総合計画の推進、当初予算の編成、行政改革の推進に加えて、議会への決算審査の資料としても十分に活用できるものになるのではないかと。また、予算・決算の全体像を把握しつつ、議会の評価・検証内容も知ると言うことが自然に構築されてくることが望ましい。また、市民への行政サービス向上には、行政側のさらなる意識改革と同時に、議会側もしっかりとチェック機能を果たしていくための議会・議員活動が大事であると改めて感じた。

以上